



「あふたっぺ、春のうまいもん市」(とうや湖町特産品協議会主催)が、4月16日、

Aコープとうや湖店駐車場で行われ、春の新鮮な地場産品を求めて、長い列ができました。

好評のホタテ稚貝のつめ放題には、時間前に約40人が並び、200\*<sub>0</sub>用意した稚貝が10分で完売。もう一つの目玉商品の長芋詰め放題も行列を作るほどの盛況ぶりでした。

その他ジャガイモ、トマトなどの地場産野菜のほか、はるさめ、納豆などの各種加工品にお菓子、パンなど特産品が並び、多くの買い物客で賑わいました。

## 春を味わううまいもん市 多種多様な地場産品を提供

## 地域住民と園児が交流 春のゴミ拾い

ゴミ拾いを通し地域との交流を深めようと、桜ヶ丘保育所の園児とのぞみ団地の住民らが、4月20日、保育所や団地周辺のゴミ拾いを行いました。

参加したのは、保育所園児、職員と団地住民合わせて16人。

当日は、保育所の駐車場に集合し、住民と園児がいっしょになりゴミを収集。園児らは、火ばさみの代用としてトングを手を持って、約1時間ほどかけて、タバコの吸い殻や枯れ枝などのゴミを拾い集め、「たくさん拾って楽しかった」と笑顔を見せていました。



## 春を感じるヤナギの木の工作会 助田自然体験ハウス4月行事



4月23日、24日の両日、洞爺助田自然体験ハウスで、4月の自然ふれあい行事「ヤナギで工作」が行われました。参加者は10人。ヤナギの木を使って、鉛筆やアクセサリーなど思いおもいのものを作りました。

ヤナギの木は、この時期しかきれいに皮がむけないため、春を感じて行う工作には、うってつけの樹木。

参加者は、同体験ハウス内のヤナギを切って、皮をむくところからスタートし、ドリルやのこぎりなどを使ってヤナギの木の工作に挑みました。

参加者は、同体験ハウス内のヤナギを切って、皮をむくところからスタートし、ドリルやのこぎりなどを使ってヤナギの木の工作に挑みました。



入江の夕日ヶ丘パークゴルフ場が、4月9日オープンしました。シーズン

インを待ちかねた町内外からの愛好者が次々と訪れ、久しぶりの芝の上で爽快なショットを放っていました。道の駅あふたに隣接する同パークゴルフ場は、噴火湾を見渡す高台に位置し、眺望の良さが人気となっています。

4月24日には、洞爺湖町パークゴルフ協会(西田久会長)のオープン初の月例会が行われ、少し肌寒い中、会員48名が参加して、熱戦を繰り広げました。

## 夕日ヶ丘パークゴルフ場オープン 爽快ショット放つ



# まちのわだい